

令和6年度

「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議

令和6年5月17日 「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議事務局

目次

1 議案第1号

令和5年度事業実績及び収支決算（案）について

P 2 – P 26

2 説明事項

令和6年度事業計画及び収支予算について

P 27 – P 35

令和 5 年度事業実績

令和5年度事業の基本的な考え方

本県への新たな人の流れを創出・拡大するため、若者や子育て世帯等を中心に、移住の働きかけから定住・定着に至る各段階の支援策を着実に実施するとともに、コロナ禍を契機とした、「働き方の新しいスタイル」の普及や地方移住への関心の高まりを好機と捉え、地方創生テレワークとその裾野を広げるワーケーションを一体的に推進

移住の働きかけ・情報発信

- 「やまぐち暮らし支援センター」の運営
・大阪地区に相談員を配置
- 若い世代を呼び込む情報発信・新たなPRツールの作成
・SNS等のデジタル技術を活用した戦略的情報発信
・移住サイトのリニューアル、PR動画の制作
- 大都市圏での移住関連フェア等への出展・オンライン相談の実施

移住に向けた支援

- YY！ターンセミナーの開催
・転出者の多い福岡県での開催
- YY！ターン支援交通費補助の拡充
・利便性向上のための定額制の導入
・福岡県からの自家用車による来県支援
- YY！ターンオーダーメイドツアーの実施

受入・定着支援

- YY！ターンコンシェルジュによる定着支援
- YY！ターンパスポートによる経済的負担の軽減
- 地域おこし協力隊の定住支援
・地域おこし協力隊OB・OGのPR動画の制作
- 「やまぐち移住倶楽部」による移住者支援

関係人口の創出・拡大

- 山口つながる案内所の運営
- 県内地域とのマッチング・受入支援
- 関係人口来県支援交通費補助金

地方創生テレワークとワーケーションの一体的推進

- 「YY！SQUARE」（県庁1階）「YY！GATEWAY」（山口宇部空港）の運営
 - 県内事業者と連携したワーケーションツアーの造成
 - 「やまぐちテレワーク・ワーケーションセミナー」等の開催、都市部企業・就業者へのPR
- 《参考：県予算事業》
やまぐち創生テレワーク移住補助金の創設 テレワーク移住支援金の拡充

令和5年度の相談体制

○移住相談拠点 「やまぐち暮らし支援センター」



やまぐち暮らし総合支援センター
山口県山口市小郡令和1-1-1 KDDI維新ホール3階
TEL 083-976-0277 <https://www.joby.jp/uji>



やまぐち暮らし東京支援センター
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
NPO法人ふるさと回帰支援センター内
TEL 03-6273-4887 <http://oidemase-t.jp/uji/>



やまぐち暮らし大阪支援センター
大阪府大阪市北区梅田2-4-13 阪神産経桜橋ビル2階
TEL 06-6341-0755
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16100/oosaka/201603300001.html>



大阪ふるさと暮らし情報センター
大阪府大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪 1階
TEL 090-1599-3111 <https://www.osaka-furusato.com/>

○関係人口案内所 「山口つながる案内所」

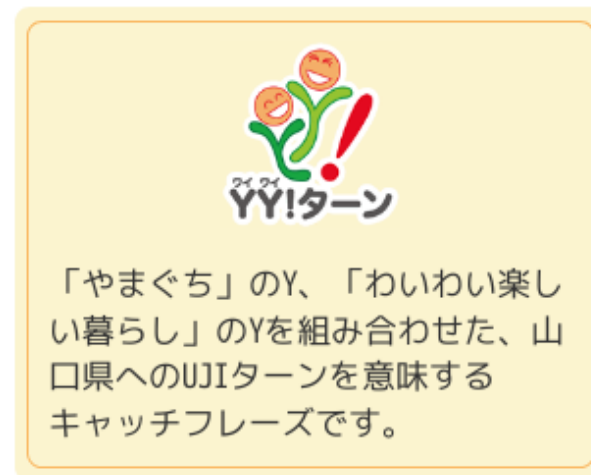
東京都中央区日本橋2-3-4 山口県アンテナショップ「おいでませ山口館」内
TEL : 070-3994-4098 <https://www.ymg-tunagaru.jp/>

○やまぐち創生テレワークオフィス「YY! SQUARE」

山口県山口市滝町1番1号 山口県庁本館棟1階 (県民ホール内)
TEL : 083-933-4805 <https://www.yamaguchi-sousei-office.jp/>

○やまぐちワーケーション総合案内施設「YY! GATEWAY」

山口県宇部市大字沖宇部625-17 山口宇部空港国内線ターミナル2階
TEL : 0836-33-6678 <https://yamaguchi-workation.com/>



○「YY!ターンコンシェルジュ」

- 移住者の定着に向けたきめ細やかな支援のため、県内に配置

1 移住の働きかけ・PR (1)

○大都市圏での移住関連フェア等への出展

・各種団体が主催する、自治体が一堂に会する移住関連フェアに出展

区分	九州・山口・沖縄合同移住フェア 暮らしシゴト2023	おいでや！いなか暮らしフェア2023	やまぐちと津和野のんびり移住Life2023	やまぐち農林水産業新規就業ガイダンス	ひろしま広域都市圏移住フェア2023	ふるさと回帰フェア2023	中国四国もうひとつのふるさと探しフェア	九州・山口合同移住相談会	JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024
会場	東京	大阪	東京	山口	東京	東京	大阪	大阪	東京
主催者	ふるさと回帰支援センター	ふるさと回帰支援センター	山口県央連携都市圏域移住・定住PT	山口県、やまぐち農林振興公社ほか	広島市、広島県、広島県交流・定住促進協議会	ふるさと回帰支援センター	中国四国共同移住・交流フェア実行委員会	九州・山口合同移住相談会実行委員会	移住・交流推進機構(JOIN)
日程	5/28	7/22	7/23	8/6	9/2	9/17	10/1	12/9	1/13-14
出展市町数等	県民会議4市	県民会議7市1町	県民会議6市	10市3町	県民会議2町	県民会議6市1町	県民会議4市	県民会議6市2町	県民会議8市1町
参加者数	413名	1,462名	115名	68名 ※リアル・オンライン合算	149組 ※リアル・オンライン合算	21,845名	248名	193名	3,337名
相談者数(計,195名)	71名	96名	104名	68名	35名	178名	111名	78名	454名

○オンライン移住相談の実施

・コロナ禍を契機に、地方への関心が高まっている都市部の若者等のニーズに対応するため、やまぐち暮らし東京支援センターにオンライン移住相談窓口を開設

【内容】 オンライン上のカレンダーから予約可能

【対応時間】 平日 9:00～20:00 土日 10:00～18:00

【相談実績】 80名

1 移住の働きかけ・PR (2)

○ 様々な発信ツールを用いた情報提供

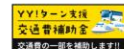
- ・ダイレクトメールによる相談者への継続的な情報発信
- ・ガイドブックやポスターなどPRツールの作成・配布・掲出
- ・全国移住ナビ・JOIN等の活用、LINEやFacebookなどSNSを活用した情報提供
- ・リニューアルした移住サイト「住んでみいね！ぶちええ山口」の運営



【山口県公式】住んでみいね！ぶちええ山口



ポスター



移住支援サイト

1 移住の働きかけ・PR (3)

○ やまぐちYY！ターンセミナーの開催

・本県への移住に関心を持つ層を着実に移住につなげられるよう、テーマ設定し、講座を開催

日程	テーマ	タイトル	参加市町・団体	参加者数 (計290名)
7/1	やまぐちで子どもを育てよう！	～子育て&教育の話～ (リアル開催)	山口市、美祢市、周南市	28名
7/8	やまぐちで働こう！ (福岡開催)	～農・林・漁業の話～ (ハイブリッド開催)	宇部市、山口市、防府市、山陽小野田市、周防大島町、田布施町、やまぐち農林振興公社、やまぐち森林担い手財団、山口県漁業就業確保育成センター	31名 (うちオンライン15名)
9/9	やまぐちを食べよう！	～山口県民のソウルフード チキンチキンごぼう～ (オンライン開催)	長門市	43名
10/14	やまぐちで働こう！	～移住就業・創業の話～ (ハイブリッド開催)	山口市、防府市、岩国市、柳井市、やまぐち産業振興財団	33名 (うちオンライン4名)
11/19	やまぐちをもっと知ろう！	オンライン移住体験ツアー (オンライン開催)	山口市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、周防大島町	46名
11/26	やまぐちで働こう！	～農・林業の話～ (ハイブリッド開催)	山口市、萩市、防府市、長門市、周南市、周防大島町、やまぐち農林振興公社、やまぐち森林担い手財団	44名 (うちオンライン17名)
2/18	やまぐちで暮らそう！	～テレワーク移住の話～ (ハイブリッド開催)	萩市、防府市、周南市、周防大島町	65名 (うちオンライン29名)

2 移住に向けた支援

○ YY！ターン支援交通費補助制度

・県外在住の移住希望者が山口県を訪れる際の交通費を補助

【概要】

- ・対象者：県外に在住する移住希望者
- ・対象事業：①移住に関するツアー ②移住に関するセミナー・フェア・イベント
③暮らし体験、下見 ④就職面接、就農林漁業面接
- ・対象経費：居住地と本県の往復において、公共交通機関等を利用した移動経費
- ・基準額：5千円～3万円



区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
件数	136	195	176	174	95	123	198	222	1,319
人数	168	238	229	223	125	174	277	306	1,740

○ YY！ターンオーダーメイドツアー

・県・市町・関係団体等の連携により、移住希望者のニーズに応じた体験ツアーを企画・実施

区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
件数	23	26	22	27	39	46	51	234
人数	25	26	39	43	58	64	90	345

3 受入・定着支援（1）

○「YY！ターンコンシェルジュ」の配置

- ・移住希望者が安心して移住・定住できるよう、県内にコンシェルジュを配置し、それぞれの専門分野を活かしながら相談の段階から寄り添った支援を実施

【業務内容】

- ①移住者個々の実情・希望に応じた具体的なアドバイス
- ②関係機関等への斡旋・マッチング
- ③交流会等の開催を通じた移住者同士の交流促進 等

区 分	R1	R2	R3	R4	R5	累計
相談件数	326	525	291	406	132	1,680

○「やまぐちYY！ターンパスポート」による支援

- ・協賛企業等と連携して移住に伴う経済的負担に対する支援などを行い、本県への移住・定住を促進

【サービス概要】

- ・引っ越し代割引 ・ローン金利優遇 ・新車購入時のオプションプレゼント
- ・レンタカー代割引 ・宿泊代割引 ・賃貸住宅契約金割引 等

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
件数	237	210	215	189	115	158	167	186	149	1,626

やまぐちYY！ターン(UJターン)パスポート



〈電子版〉



〈カード版〉

3 受入・定着支援（2）

○ 地域おこし協力隊の定住支援

① 定住セミナーの開催

- ・ 任期終了を迎えた地域おこし協力隊の定住促進を図るため、隊員を対象としたセミナーを開催

日程	テーマ	参加者
8/23	任期終了後を見据えた活動と生活にかかるお金のはなし	28名
2/20	SNS（インスタグラム）の実践的な活用方法	35名



② 地域おこし協力隊PRイベント「Sweet & Spicy マーケット」の開催

- ・ 地域おこし協力隊の活躍を広く発信し交流を促進するため、マルシェイベントを開催（※文化芸術体験交流イベント『ダンス☆オン☆きらら』と同時開催）

〔日程〕 9/3 〔場所〕 山口きらら博記念公園



【参考】 任期終了者の定住率（R5.3.31までに任期終了した地域おこし協力隊の定住状況）

区分	任期終了者	定住者（※）	定住率
全国	11,123	7,214	64.9%
山口県	143	109	76.2%



※任期を終えた隊員が
50人以上いる
43道府県の中では
山口県が全国1位

出典：総務省「令和5年度地域おこし協力隊の定住状況等に係る調査結果」
※活動地と同一市町に定住した者と活動地の近隣市町内に定住した者の計

3 受入・定着支援（3）

○ やまぐち移住倶楽部の運営

- ・移住者同士で交流、情報交換、相談を行える移住者のネットワークである「やまぐち移住倶楽部」の運営

＜交流会の開催＞

日程	開催市	内容	新規登録者数
9/3	山口市	地域おこし協力隊PRイベントに合わせ、情報交換&交流会を開催	29名

○ 移住者交流会の開催

- ・移住者と地域住民等との交流の促進を図ることを通じ、定住支援を強化

市町名	日程	イベント名	内容	参加者数
宇部市	6/18	うべ暮らし交流会	田植え体験	6名
	8/13		流しそうめん	19名
	9/30		まちなかビアガーデン	18名
	10/29		吉部の新米でかまどごはん	11名
	12/24		正月飾りづくり	9名
	3/10		革細工体験	8名
山口市	6/3	ゆかりびとの集いVol.3	秋穂とまとの収穫体験	42名
	7/15	ゆかりびとの集いVol.4	アメリカンBBQ、SUP体験	11名
	12/2	ゆかりびとの集いVol.5	阿東りんごもぎあげ体験	21名
	3/16	ゆかりびとの集いVol.6	オートマタミュージアムでのカフェ交流会	18名
萩市	8/5	はぎポルトnoランチ交流会	竹紙の「ランプシェード」作り	14名
	12/16	移住者交流会in川上	サンタクロースオーナメント作り	16名
	3/21	移住者交流会in田万川	レンコ鯛の干物作り体験	16名
岩国市	11/11	いわくに暮らし移住者交流会	ピザ作り体験	15名
長門市	6/4	#ながと暮らし交流会	まち歩き	15名
	8/24		シーカヤック、やきとりBBQ	17名
延べ計				256名

4 関係人口の創出・拡大（1）

○「山口つながる案内所」による情報発信及び登録促進

・「山口つながる案内所」の設置

〔開設日〕 令和2年7月1日

〔場所〕 おいでませ山口館内（東京都中央区日本橋）

〔登録者数〕 1,240名（令和6年3月末時点）



〈業務内容〉

【情報発信】

- ・ 関係人口についての紹介、県事業、ふるさと納税、農山漁村体験、ワーキングホリデー、地域おこし協力隊など、関係人口に関連する様々な情報を発信

【登録促進】

- ・ 来館者への登録案内、山口県にゆかりのある企業・個人へのアウトリーチによる登録促進

【県・市町・関係団体等への情報提供】

- ・ 県・市町の取組、地域の募集プロジェクトの参加記事等を紹介

各SNSを活用した情報発信



4 関係人口の創出・拡大（2）

○ マッチング支援

- 地域の課題解決や活性化を目指す地域と都市部人材等（関係人口登録者）のマッチングを行い県内4か所でマッチング事業を実施

地域	実施時期	団体	参加人数	実施内容
美祢市 大田	8/26～27 10/15	美祢市大田地域ふるさと再発見同好会	3名	大田地区のまちあるき、地域の教科書の作成、ワークショップなど
周南市 大津島	8/31～9/3 12/7～10	大津島地区コミュニティ推進協議会	33名	すだいだい収穫体験、情報発信大津島PRポスター写真撮影など
長門市 仙崎	9/15～16	大津あきら顕彰会	8名	青春音楽祭の企画・運営・出演仙崎まちあるきなど
美祢市 東分	11/3～5 12/16～17	美祢市定住促進協議会	7名	地域課題・空き家改修に向けたワークショップ、空き家DIY



4 関係人口の創出・拡大（3）

○ 関係人口来県交通費補助制度

- ・ 県外在住者が地域課題の解決や地域活性化のために本県の地域活動に参加する場合に、居住地から山口県内への往復交通費を補助

【制度概要及び実績】

区分	内容
対象者	以下の要件を全て満たす者 ①山口県外に居住している者 ②「山口つながる案内所」に関係人口として登録した者 ③補助対象事業のために来県した者 ④その活動内容をSNS等で発信した者
補助対象事業	以下の全ての要件に該当する地域活動 ①地域の課題解決や活性化のために実施するもの ②「山口つながる案内所」ホームページに登録しているもの
補助対象経費	居住地から山口県内への往復交通費(公共交通機関を利用した実費に限る)
補助率	対象経費の1/2（上限3万円/名）
交付実績	90名



5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進（1）

施設運営

やまぐち創生テレワーク

■ やまぐち創生テレワークオフィス「YY! SQUARE」

- 都市部企業に勤務しながら、リモートワークで山口に居住して働く「転職なき移住」を実現するためのモデルオフィス



ワーケーション

■ やまぐちワーケーション総合案内施設「YY! GATEWAY」

- コンシェルジュによる相談対応から受入サポート
- コワーキングスペースとしても利用可能



主な取組

■ 県内テレワーク施設との連携

- 県内関連施設のネットワーク化や一体的なPRの推進
- 都市部テレワーカー等の受入環境の整備・充実

■ 機運醸成、施設の利用促進

- WEBセミナー開催やSNSを活用した情報発信・拡散

■ 山口型ワーケーションの推進

- 県内旅行事業者と連携したワーケーションツアーの造成（協業パートナー体制の構築）
- 誘客拡大に向けた首都圏等でのプロモーション

情報発信

■ 首都圏企業等に対するプロモーションや情報発信

- 大都市圏イベント、WEB広告等を活用したPR

■ 山口県テレワーク・ワーケーション総合案内サイト

- サイトを通じた、山口県のテレワーク・ワーケーション環境のPR



5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進（2）

○ やまぐち創生テレワークオフィス「YY!SQUARE」の運営

【設置場所】 山口県庁本館棟 1階 県民ホール

【営業時間】 8:30～17:15（土・日、祝日、年末年始を除く）

【利用料金】 無料

【主な設備】 40席、Wi-Fi、電源、複合機、給茶機、ディスプレイモニター等

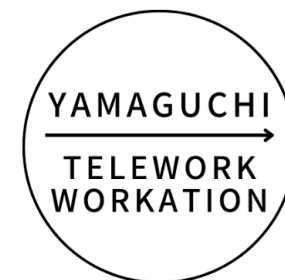
【利用実績】 R5利用者数…7,500名（1日平均30.9名）

・利用者ミニ交流会の開催（計11回開催）



○ WEBセミナー等を活用した情報発信

日時	テーマ	参加者数
11/30	山口県で実践するワーケーションのこれから	63名
2/9	“出産・子育て”で感じたテレワーク移住の魅力とは？	54名



○ 県内テレワーク施設との連携

県内のテレワーク施設と連携して「テレワーク・ワーケーションウィーク」を実施

【期間】 7/27～8/3

【概要】 県内のコワーキング施設のイベント情報発信、施設関係者の交流イベント開催



5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進 (3)

西部



①uzuhouse (ウズハウス)



②うべスタートアップ



③nido (ウベノス)



④海峽メッセ下関
シェアオフィス



⑤シェアオフィス ナニコ



⑥X-Culture Magazzino



⑦JOIN083 大丸下関店
(ジョインゼロハサン)



⑧創業支援カフェ「KARASTA」
(カस्ता)



⑨TSUNAGARU SPACE
EN-biz (エンビズ)



⑩ナニコX



⑪YY! ARCH (ワイワイアーチ)



⑫YY! GATEWAY
(ワイワイゲートウェイ)

北部



⑬ABUキャンフィールド
ミーティングルーム



⑭阿武町暮らし支援センター
shiBano



⑮長門市仕事センター
T.e.g.o.



⑯萩コワーキングスペース
Mei Link



⑰ヤマネスタジアム 俄山



⑳YY! SQUARE
(ワイワイスクエア)

中部



⑱エコデキの湯田店



⑲産業交流スペース
Megriba (メグリバ)



⑳サワークワーク美祿



㉑防府市創業・交流センター



㉒やまぐち創業応援スペース
mirai365



㉓LANDMARK.

東部



㉔岩国しごと交流・創業支援
スペースClass Biz



㉕いよいよワークスペース
Class Labo



㉖コクエーションベース「カラム」



㉗CROSS SPACE 紡



㉘コワーキングスペース
HIKARIBA (ヒカリバ)



㉙work&community
Space もぐのもり

5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進（4）

○ やまぐちワーケーション総合案内施設「YY!GATEWAY」の運営

【設置場所】山口宇部空港国内線ターミナルビル2F

【営業時間】9:00～18:00（月曜、年末年始を除く）

【利用料金】無料

【主な設備】16席、Wi-Fi、電源、ディスプレイモニター 等

【利用実績】R5利用者数…3,722名（1日平均12.1名）



○ プロモーション活動

ツーリズムEXPOジャパン等でのPR、誌面広告・WEBサイトの活用、SNSアカウントによる情報発信



ツーリズムEXPOジャパンの様子



ANAワーケーションサイト山口版（プラン等紹介）

5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進（5）

○ 協業パートナーによるツアー造成

県内旅行事業者 5 社と連携し、ワーケーションプログラム・ツアーを造成し催行

No.	時期	旅行事業者	ツアー名	参加者
1	11/17～11/19 2/22～2/23	(一社) 宇部観光コンベンション協会	自然豊かで便利な田舎「山口県宇部市小野」親子で過ごす2泊3日のワーケーション～全校生徒21人の小学校に1日体験入学！～（宇部市）	3名 6名
2	2/5～2/6	(株) エヌティーイー旅行	本物の萩にふれる旅。波多野英生先生との萩焼作陶・GI萩認定岩崎酒造の忘れられない日本酒の体験（萩市）	10名
3	1/18～1/19 2/27～2/28	サンデン旅行(株)	“深緑のエメラルド”生産に触れるワーケーションプラン～山口県:下関市 2泊3日～（下関市）	3名 5名
4	2.27～2/28	(株) 防長トラベル	『旅はゆっくり、ゆったりと。スロートラベル・ワーケーション』～瀬戸内の山口県室積(むろづみ)、笠戸島(かさどしま)で海サウナ・瀬戸内ごはん・海街暮らし体験～（光市・下松市）	10名
5	2/26～2/27	(一社) 宇部観光コンベンション協会	“アートに会う”UBEビエンナーレと野外彫刻について考えるワーケーション（2月26日～27日）	3名
6	2/6～2/7	(株) 日本旅行岩国支店	柳井市でワーケーション！	10名
7	11/1～1/29	(株) 日本旅行岩国支店	岩国市でワーケーション！	—



【制度概要】

国の地方創生移住支援事業を活用し、テレワーカーや、県内の地域と強い関わりがある関係人口を対象として、本県への移住を支援

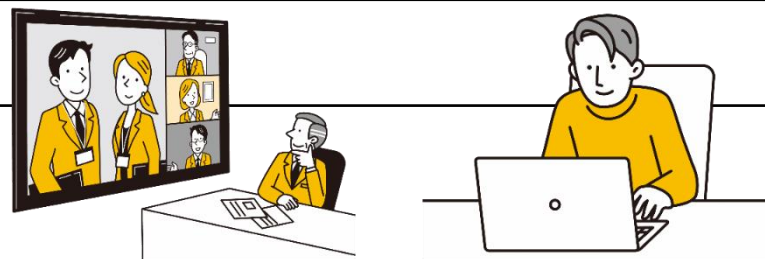
項目	内容
対象者	<ul style="list-style-type: none">○ 東京 2 3 区在住者又は通勤者（直近 1 0 年間で通算 5 年以上在住又は通勤）で、次のいずれかに該当する者<ul style="list-style-type: none">・ 本県に移住し、引き続きテレワークで業務を行う者・ 移住前に移住希望先の市町の地域等と関わりを有し（関係人口）、その市町が個別に強いつながりがあると認める者※ <p style="text-align: right;">※市町により個別に要件を設定</p>
支給額	<ul style="list-style-type: none">○ 1 0 0 万円（世帯）○ 6 0 万円（単身）○ 1 0 0 万円（18歳未満の帯同世帯員 1 人につき）
負担割合	○ 国 1 / 2、県 1 / 4、市町 1 / 4
交付実績	○ 5 3 名



【制度概要】

国の地方創生移住支援事業の対象外となる、東京23区外の東京圏及び近畿圏・中京圏のうち、人口100万人以上の都市を抱える府県を対象区域とした本県独自のテレワーク移住補助制度を創設

項目	内容
対象者	○東京圏（東京都23区外、埼玉県、千葉県、神奈川県）、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県からのテレワーク移住者
支給額	○50万円（世帯） ○30万円（単身） ○50万円（18歳未満の帯同世帯員1人につき）
負担割合	○県1/2、市町1/2
交付実績	○24名



6 取組の成果 (1)

○ 移住に関する相談受付状況

- ・県民会議設立前（H26：3,500件）と比べ、約3.5倍の12,351件に増加
- ・月平均では1029.3件

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
山口県 (※1)	1,275	2,027	2,266	2,625	2,836	2,719	2,810	3,484	3,881	3,386
うち移住 相談	294	624	690	1,218	1,343	1,604	1,709	2,438	2,735	2,380
うち求職 相談	981	1,403	1,576	1,407	1,493	1,115	1,101	1,046	1,146	1,006
市町 (※2)	2,225	2,731	3,293	4,137	5,936	6,121	7,295	7,183	7,718	8,965
合計	3,500	4,758	5,559	6,762	8,772	8,840	10,105	10,667	11,599	12,351
(月平均)	291.7	396.5	463.3	563.5	731.0	736.7	842.1	888.9	966.6	1029.3

※1 山口県分は、「やまぐち暮らし支援センター」（東京・大阪・山口）及びYY!ターンコンシェルジュが受け付けたもの

※2 市町分は各市町の移住担当窓口で受け付けたもの

6 取組の成果 (2)

2023年移住希望地ランキング (NPO法人ふるさと回帰支援センター発表)

- 新規の窓口相談者数は、前年15位から9位へ大幅ランクアップ。 中国・四国地区：1位 西日本：2位
- 新規のセミナー参加者数は、前年圏外から19位へランクイン。

2020年				2021年				2022年				2023年			
順位	相談	順位	セミナー	順位	相談	順位	セミナー	順位	相談	順位	セミナー	順位	相談	順位	セミナー
1位	静岡県	1位	和歌山県	1位	静岡県	1位	広島県	1位	静岡県	1位	広島県	1位	静岡県	1位	群馬県
2位	山梨県	2位	広島県	2位	福岡県	2位	愛媛県	2位	長野県	2位	新潟県	2位	群馬県	2位	愛媛県
3位	長野県	3位	佐賀県	3位	山梨県	3位	長野県	3位	栃木県	3位	愛媛県	3位	栃木県	3位	和歌山県
4位	福岡県	4位	静岡県	4位	長野県	4位	北海道	4位	山梨県	4位	長野県	4位	長野県	4位	新潟県
5位	宮城県	5位	長野県	5位	群馬県	5位	福島県	5位	福岡県	5位	静岡県	5位	宮城県	5位	長野県
6位	広島県	6位	北海道	6位	広島県	6位	静岡県	6位	広島県	6位	北海道	6位	福岡県	6位	高知県
7位	北海道	7位	山梨県	7位	宮城県	7位	和歌山県	7位	宮城県	7位	高知県	7位	北海道	7位	広島県
8位	和歌山県	8位	愛媛県	8位	岐阜県	8位	佐賀県	8位	和歌山県	8位	和歌山県	8位	山梨県	8位	福島県
9位	神奈川県	9位	新潟県	9位	栃木県	9位	新潟県	9位	群馬県	9位	福島県	9位	山口県	9位	北海道
10位	群馬県	10位	福島県	10位	神奈川県	10位	群馬県	10位	神奈川県	10位	富山県	10位	広島県	10位	静岡県
"	岐阜県	11位	岩手県	11位	福島県	11位	山梨県	11位	岐阜県	11位	岩手県	11位	和歌山県	11位	佐賀県
"	茨城県	12位	富山県	12位	和歌山県	12位	山形県	12位	北海道	12位	佐賀県	12位	福島県	12位	富山県
13位	栃木県	13位	香川県	13位	山口県	13位	神奈川県	13位	富山県	13位	岡山県	13位	富山県	13位	岩手県
14位	福島県	"	岡山県	14位	鹿児島県	"	石川県	14位	熊本県	14位	群馬県	14位	神奈川県	14位	栃木県
"	長崎県	15位	岐阜県	15位	富山県	15位	富山県	15位	山口県	15位	栃木県	15位	千葉県	15位	熊本県
16位	宮崎県	16位	鳥取県	16位	北海道	16位	山口県	16位	千葉県	16位	山形県	16位	岐阜県	16位	岡山県
17位	富山県	17位	山形県	17位	京都府	17位	宮崎県	17位	鹿児島県	"	神奈川県	17位	熊本県	17位	香川県
18位	山口県	18位	島根県	18位	熊本県	18位	鹿児島県	18位	茨城県	"	石川県	18位	兵庫県	18位	宮城県
"	愛媛県	19位	神奈川県	19位	宮崎県	19位	岩手県	"	兵庫県	"	鳥取県	19位	鹿児島県	19位	山口県
20位	鹿児島県	20位	山口県	20位	新潟県	"	栃木県	20位	滋賀県	20位	香川県	20位	茨城県	20位	石川県

n = 4,400

n = 3,702

n = 5,467

n = 6,144

n = 6,746

n = 7,886

n = 8,164

n = 10,070

※ ふるさと回帰支援センター窓口相談者・セミナー参加者アンケートより集計 (複数回答)

6 取組の成果 (3)

○ 転入者アンケート等による移住者数

・令和5年度は4,312人が本県へ移住

【対前年の各市町別の状況】

(単位：人)

区分	下関	宇部	山口	萩	防府	下松	岩国	光	長門	柳井
R 4	334	1,222	662	489	166	26	25	80	29	145
R 5	408	1,249	944	657	307	46	68	74	67	142

区分	美祢	周南	山陽小野田	周防大島	和木	上関	田布施	平生	阿武	合計
R 4	64	290	81	7	2	4	20	6	3	3,655
R 5	23	163	94	36	1	0	26	6	1	4,312

【移住者数の推移】

(単位：人)

年度	H28 (7~3月)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
人数	1,615	1,745	2,097	3,100	3,230	3,588	3,655	4,312

※移住者の計上方法は、各市町の住民異動窓口でのアンケート等により把握できた県外からの転入者のうち就学と転勤による者を除いた数

令和5年度「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議 収支決算（案）

1 収入の部

（単位：円）

区分	予算額	決算額	増減額	備考
負担金収入	169,466,000	162,851,000	△6,615,000	県負担金
前年度繰越金	2,413,275	2,413,275	0	
その他収入	0	1,098	1,098	受取利息等
計	171,879,275	165,265,373	△6,613,902	

2 支出の部

（単位：円）

区分	予算額	決算額	増減額	備考
「住んでみいね！ぶちええ山口」ＹＹ！ターン推進事業費	70,800,000	66,122,857	△4,677,143	委託費・補助金等
関係人口創出・拡大事業費	15,000,000	13,191,842	△1,808,158	委託費・補助金等
やまぐち創生テレワーク・ワーケーション推進事業費	83,666,000	83,304,614	△361,386	委託費
事務局運営費	2,413,275	1,277,737	△1,135,538	消耗品費等
計	171,879,275	163,897,050	△7,982,225	

収入決算額 165,265,373円
 支出決算額 163,897,050円
 差引 1,368,323円
 翌年度繰越額 1,368,323円

監査報告

「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議における令和5年度会計について、証拠書類及び諸帳簿を監査した結果、その内容は適正であると認めます。

令和6年4月26日

「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議監事

山口県会計管理者（代理）

会計課長

井本 繁 紀 

令和 6 年度事業計画

令和6年度事業の基本的な考え方

本県の人口減少の大きな要因の1つが、進学・就職を契機とする若者の県外流出であることから、移住・定住の促進にあたっては、若者や子育て世代に焦点を当て、山口の暮らしやすさや子育て環境などの魅力を前面に出したプロモーション展開やお試し暮らし住宅の整備など、当該世代へのアプローチを強化する。

また、大都市圏からのテレワーク移住や、その裾野を広げるワーケーションや関係人口の創出・拡大に向けた取組を推進する。

移住の働きかけ・情報発信

- 「やまぐち暮らし支援センター」の運営
- 拡** 若い世代を呼び込む情報発信・PRツールの活用
 - ・SNS等のデジタル技術を活用した移住潜在層への戦略的情報発信
- 「やまぐち暮らしガイドブック」等の作成・配付
- 大都市圏での移住関連フェア等への出展・オンライン移住相談の実施

移住に向けた支援

- 新** お試し暮らし住宅の整備
 - ・県営住宅を活用した若者・子育て世代向けの「お試し暮らし住宅」の整備
- 拡** YY！ターンセミナーの開催
 - ・オンライン方式による開催回数の増
- 拡** YY！ターン支援交通費補助の拡充
 - ・福岡県に加え、広島県からの自家用車による来県支援
- YY！ターンオーダーメイドツアーの実施

受入・定着支援

- 新** 住まいのコンシェルジュの配置による相談体制の強化
- YY！ターンコンシェルジュによる定着支援
- YY！ターンパスポートによる経済的負担の軽減
- 拡** 地域おこし協力隊の定住支援
 - ・地域おこし協力隊OB・OGネットワークの体制整備
- 「やまぐち移住倶楽部」による移住者支援

関係人口の創出・拡大

- 山口つながる案内所の運営
- 県内地域とのマッチング・受入支援
- 関係人口来県支援交通費補助金

地方創生テレワークとワーケーションの一体的推進

- 「YY！SQUARE」（県庁1階）「YY！GATEWAY」（山口宇部空港）の運営
 - 県内事業者と連携した「山口型ワーケーション」の推進
 - イベント等の開催による都市部企業・就業者へのPR
- 《参考：県予算事業》
やまぐち創生テレワーク移住補助金 / テレワーク移住支援金

事業概要 (1)

○ 移住の働きかけ・情報発信

デジタル技術を活用し、ターゲットに向けた効果的かつ的確な情報発信を行うとともに、若者や子育て世代の移住者インタビュー動画の制作・配信やオンライン相談の実施など、移住希望者のニーズに応じたきめ細かな相談対応を強化する。

(予算額：34,769千円)

区分	主な事業内容
「やまぐち暮らし支援センター」の運営	<ul style="list-style-type: none">○ 東京、大阪、山口に設置している「やまぐち暮らし支援センター」におけるきめ細かな相談対応やフォローの実施○ 「大阪ふるさと暮らし情報センター」に相談員を配置し、大阪地区での相談対応の実施
若い世代を呼び込む情報発信・PRツールの活用	<ul style="list-style-type: none">拡 デジタル技術を活用したデータ分析に基づくSNS広告の活用等による移住潜在層への戦略的情報発信<ul style="list-style-type: none">・若者や子育て世代向けの「移住者インタビュー動画」等の制作・配信○ 「やまぐち暮らしガイドブック」等の作成・配付
大都市圏での移住関連フェア等への出展・オンライン移住相談の実施	<ul style="list-style-type: none">○ 全国規模の移住関連フェアに出展し、本県の魅力のPRや個別相談の実施○ 移住希望者のニーズに応じたオンライン移住相談の実施

事業概要 (2)

○ 移住に向けた支援

移住希望者に「やまぐち暮らし」を体感してもらうため、若者・子育て世帯向けの「お試し暮らし住宅」を整備するほか、引き続き移住希望者に対する情報発信の強化、ニーズに応じたセミナーの開催や移住の下見等に係る来県交通費補助を拡充し実施する。

(予算額：34,902千円)

区 分	主 な 事 業 内 容
お試し暮らし住宅の整備	新 県営住宅を活用した若者・子育て世帯向けのお試し暮らし住宅の整備
ＹＹ！ターンセミナーの開催・移住候補地を紹介するライブ配信	拡 本県への移住希望者が必要な情報を入手し円滑に移住を実現できるよう、ニーズに応じたテーマ設定によるセミナーを開催 <u>若者・子育て世代が気軽に参加できるオンラインセミナーの開催回数</u> の増 ○ 市町と連携し、県内の移住候補地の魅力を現地から移住実践者等が紹介する「Live配信」を実施
ＹＹ！ターン支援交通費補助金	拡 県外在住の移住希望者が本県を訪れる際の交通費を補助（移住に関するツアー、セミナー、暮らし体験、下見 等） 福岡県に加え、広島県からの自家用車による来県を支援
ＹＹ！ターンオーダーメイドツアーの実施	○ 移住希望者のニーズに応じた現地体験ツアーの企画・実施

事業概要 (3)

○ 受入・定着支援

本県への移住希望者が移住を実現し、移住後も安心して住み続けられるよう、住まいに関する相談窓口として新たに「住まいのコンシェルジュ」を配置するほか、引き続き「YY！ターンコンシェルジュ」による相談段階からの伴走支援や、地域おこし協力隊の定住支援、「やまぐち移住倶楽部」を中心とした交流会等を実施する。

(予算額：17,661千円)

区 分	主 な 事 業 内 容
住まいのコンシェルジュの配置による相談体制の強化	新 移住希望者の相談体制の充実を図るため、県内の住まいに関する相談や紹介に一元的かつ専門的に対応する住まいのコンシェルジュを配置
YY！ターンコンシェルジュによる定着支援	○ YY！ターンコンシェルジュを配置し、移住の相談段階から定住に至るまでの寄り添った支援を実施
YY！ターンパスポートによる経済的負担の軽減	○ 協賛企業等と連携し、移住に伴う経済的負担に対する支援などを行い、本県への移住・定住を促進
地域おこし協力隊の定住支援	拡 <u>地域おこし協力隊OB・OGネットワークの体制整備</u> ○ 任期満了を迎えた協力隊の定住を図るため、セミナーの開催や、隊員の活動等を県内外へ情報発信 ○ 協力隊OB・OGが出店するマルシェ等イベントの実施
「やまぐち移住倶楽部」による移住者の支援	○ 移住者交流会など移住者同士が交流し、情報交換できる体制を整え、安心して住み続けられる環境を整備

事業概要（4）

○ 関係人口の創出・拡大

東京日本橋にある「山口つながる案内所」を拠点に、都市部人材と地域とのマッチングの推進や情報提供等により、本県と継続的に関わる多様な人材である「関係人口」の創出・拡大を図るとともに、将来的な移住の裾野の拡大につなげていく。

（予算額：13,875千円）

区 分	主 な 事 業 内 容
「山口つながる案内所」の運営	○ 東京日本橋の「おいでませ山口館」内に設置した「山口つながる案内所」を拠点として、山口県とつながるための様々な情報発信を行い、関係人口の登録を促進 （案内所、ふるさと納税、農山漁村体験、地域おこし協力隊等の紹介・PR）
県内地域とのマッチング・受入支援	○ 地域の課題解決や活性化につながる「関係人口プロジェクト」の実施により、都市部の多様な人材とのマッチングを推進
関係人口来県支援交通費補助金	○ 関係人口登録者を対象に、地域活動や体験交流への参加を目的とした来県時の交通費を支援

事業概要 (5)

○ やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進

時間や場所にとらわれない「働き方の新しいスタイル」の普及や地方移住への関心の高まりを好機と捉え、本県への新たな人の流れを創出・拡大するため、地方創生テレワークとその裾野を広げるワーケーションを一体的に推進する。

(予算額：83,666千円)

区 分	主 な 事 業 内 容
テレワークオフィス 「YY! SQUARE」(県庁 1 階) ワーケーション総合案内施設 「YY! GATEWAY」(山口宇部空港) の運営	<ul style="list-style-type: none">○ コンシェルジュによる相談対応や県内関連施設の総合案内○ 県内施設等の利用促進に向けたイベントの開催や P R の実施○ 「山口県テレワーク・ワーケーション総合案内サイト」の運営 (県内関連施設とのネットワーク構築等)
県内旅行業者と連携した「山口型 ワーケーション」の推進	<ul style="list-style-type: none">○ 県内旅行事業者と連携した「山口型ワーケーション」の受入体制 の強化○ 若者・子育て世帯向けに、ターゲットを拡大したプログラムの創出
都市部企業・就業者へのPR	<ul style="list-style-type: none">○ テレワーク移住の促進に向けた都市部企業等への情報発信○ 大都市圏で開催されるワーケーション関連イベントへの出展○ 民間事業者のリソースを活用したWeb広告や営業展開

令和6年度「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議 収支予算（案）

1 収入の部

（単位：円）

区 分	予算額	備 考
負担金収入	184,873,000	・県負担金
雑収入	90,000	・お試し暮らし住宅使用料
前年度繰越金	1,368,323	
計	186,331,323	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	予算額	備 考
移住希望者への住まいの相談支援事業費	15,935,000	・住まいのコンシェルジュの配置経費 ・お試し暮らし住宅の整備費 等
「住んでみいね！ぶちええ山口」YY!ターン推進事業費	71,397,000	・やまぐち暮らし支援センターの運営費 ・デジタル技術を活用した情報発信経費 ・YY！ターンセミナー開催等経費 ・来県交通費補助金 等
関係人口創出・拡大事業費	13,875,000	・山口つながる案内所の運営費 ・県内地域とのマッチング支援経費 等
やまぐち創生テレワーク・ワーケーション推進事業費	83,666,000	・「YY！SQUARE」の運営費 ・「YY！GATEWAY」の運営費 ・ワーケーションツアーの造成経費 ・都市部企業・就業者等へのPR経費 等
事務局運営費等	1,458,323	・事務費等
計	186,331,323	

